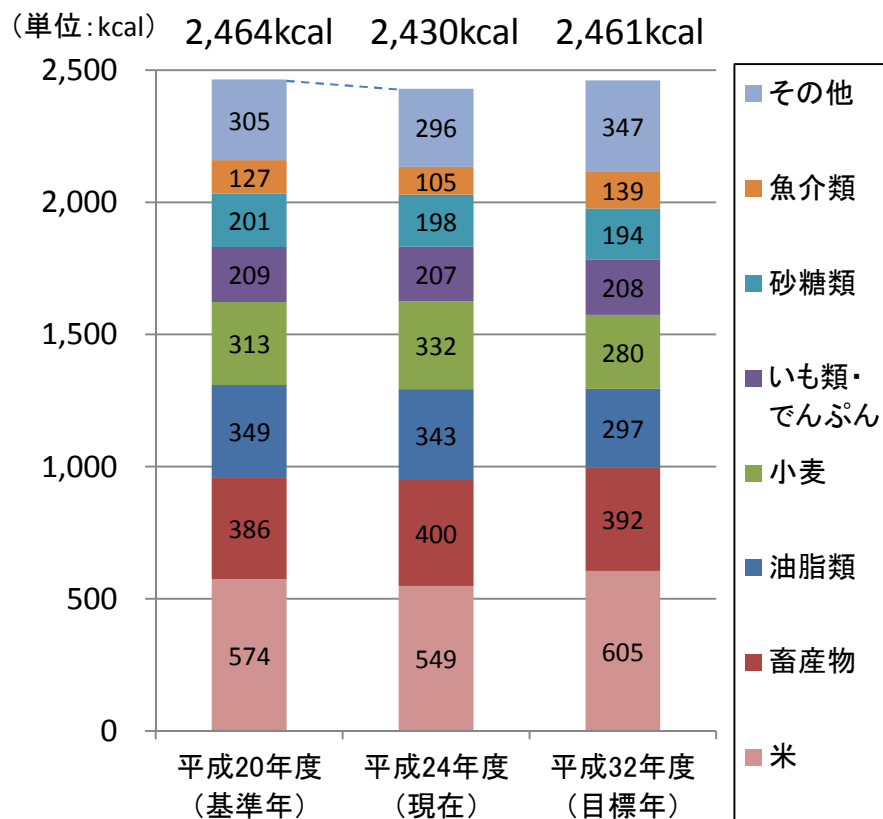


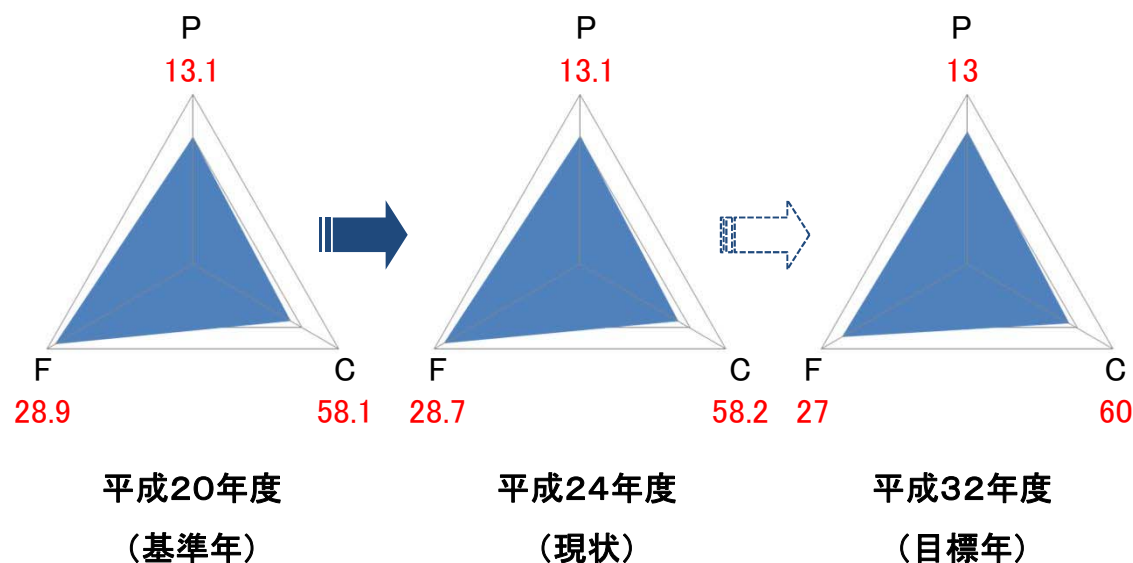
総供給熱量とPFC熱量比率の進捗状況とその要因

- 1人1日当たりの総供給熱量については、人口の高齢化等により、想定を上回って減少している状況。また、品目別の供給熱量についても、全ての品目で減少傾向。
- PFC熱量比率については、健康面でも目標年のようにたんぱく質、脂質、炭水化物をバランスよく摂取することが望ましいが、現在は脂質の摂取割合が高めな状況。

○総供給熱量(1人1日当たり)の推移



○PFC熱量比率の推移

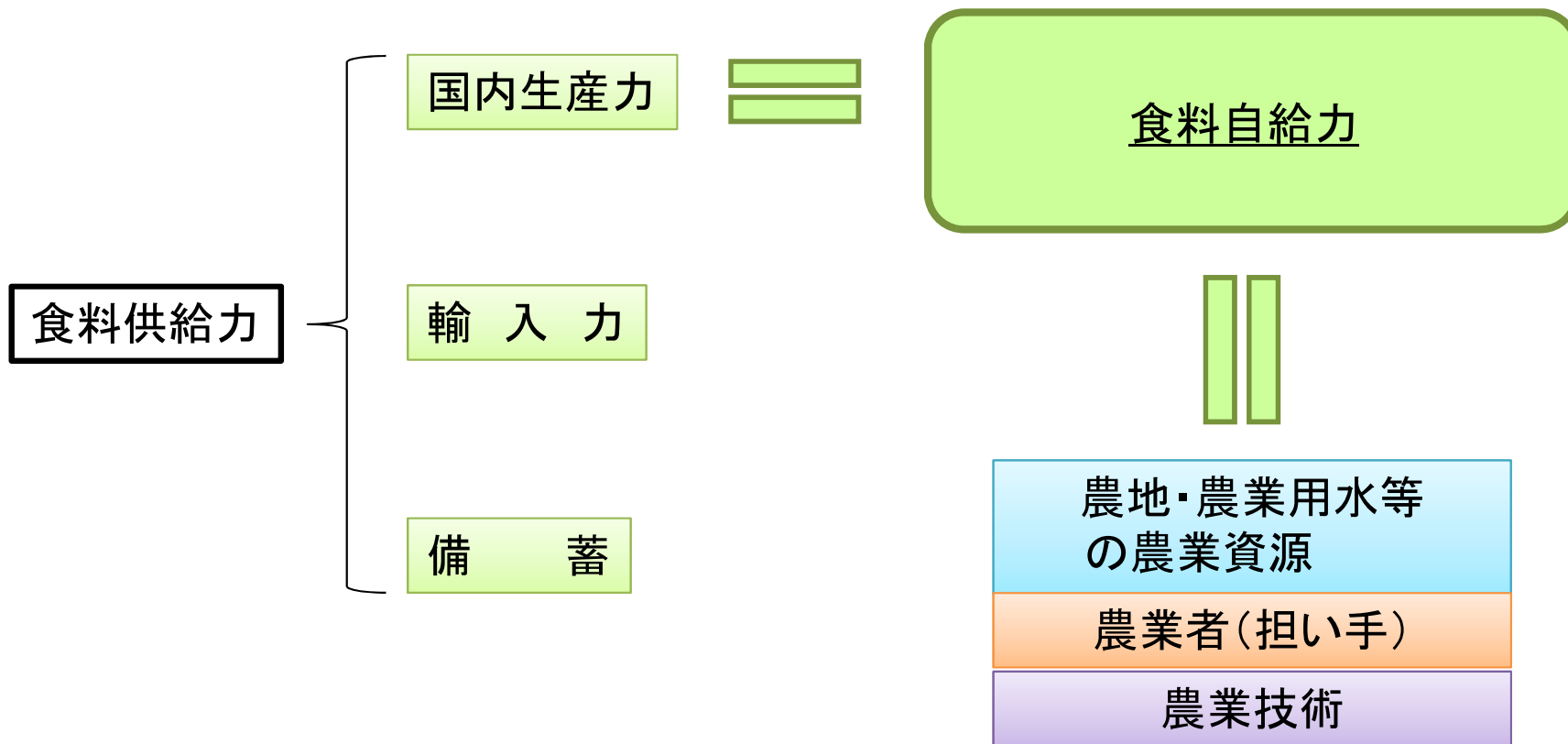


資料:平成24年度食料需給表、食料・農業・農村政策審議会企画部会(平成22年3月19日)資料
 注:平成32年度の値については、平成22年基本計画の予測値等から推計

食料自給力について

食料自給力の考え方

食料自給力については、これまでの農政における議論も踏まえ、国内農業生産による潜在的な供給能力を示すものであり、その構成要素は、農地・農業用水等の農業資源、農業者(担い手)、農業技術と整理されているところ。



これまでの農政における「食料自給力」の議論について

○農政審議会建議「食糧問題の展望と食糧政策の方向」（昭和50年4月）（抜粋）

我が国農業の資源的制約、これまでの経済の高度成長下において生じた農業経営の条件変化を前提として、**自給力**の維持向上を図るためには、①土地、水等の必要な資源を確保し、これを良好な状態で維持管理すること、②裏作の拡大等土地利用の高度化を進めること、③今後の農業生産の中核的担い手を育成確保すること、を通じて生産の潜在的エネルギーを高めることが基本である。

○農政審議会答申「80年代の農政の基本方向」（昭和55年10月）（抜粋）

今後の世界の食料需給の不安定性や国際的要因による不測の事態の発生に備え、平素から、輸入の安定確保や備蓄とあわせて、農業生産の担い手の育成を中心として、優良農地、水資源の確保、農業技術の向上を含めた総合的な**食料自給力**の維持強化を図っておくことが必要である。

○農政審議会報告「21世紀へ向けての農政の基本方向」（昭和61年11月）（抜粋）

基本的には、国内生産と輸入の適切な組合せを図りつつ、国民に対して食料の安定供給と不測の事態にも対応できる能力、すなわち**食料供給力**を確保することが必要である。このため、国内では平素から、優れた担い手、優良農地、水資源等の確保や農業技術の向上等に努めるとともに、輸入の安定、備蓄等に努めていくことが必要である。

○「食料・農業・農村基本問題調査会答申」（平成10年9月）（抜粋）

農地を確保・整備し、その有効利用を図るとともに、農業水利システムの適切な維持管理、地域の実情に応じた新規就農者・農業生産法人等多様な担い手の確保と育成、そして農業技術の向上等を通じて、**我が国農業の食料供給力**の確保を図るべきである。

○平成17年度食料・農業・農村基本計画（平成17年3月閣議決定）（抜粋）

食料自給率の目標を策定し、その達成に向けて、我が国の気候風土に根ざした持続的な生産装置である水田を始めとする農地や農業用水等の必要な農業資源の確保、農業の担い手の確保及び育成、農業技術水準の向上等を図ることは、国内の農業生産の増大や不測時における食料安全保障の確保につながるものであり、これらの取組を通じて**国内農業の食料供給力**の強化を図っていくこととする。

熱量効率を最大化した場合の国内農業生産による供給可能量の状況

- 現行基本計画の参考資料として、食料自給率目標が達成された場合の農地面積、農業技術水準等の下で、熱量効率を最大化した場合の国内生産による供給可能量を試算したところ、約2,000kcal。
- また、現行基本計画と同様の方法で現在(平成24年度)の農業技術水準等により試算したところ、約1,750kcal。

○現行基本計画の目標が達成された場合の試算

		平成20年度 (概算値)	試算1	試算2	試算3
1人1日供給熱量		2,473kcal	2,135kcal	2,026kcal	2,020kcal
		kg	kg	kg	kg
一	米	59	56	56	73
人	小麦	31	20	20	20
一	大麦・はだか麦	0.2	2	2	2
年	いも類	20	256	220	177
当	大豆	7	13	13	13
た	野菜	94	33	33	33
り	果実	40	17	17	17
供	牛乳・乳製品	86	12	12	12
給	肉類	29	4	7	4
純	鶏卵	17	2	2	2
食	砂糖	19	7	7	7
料	油脂類	14	1	2	2
	魚介類	31	29	29	29

○現在の農業技術水準等による試算

		平成20年度 (概算値)	試算1	試算2	試算3
1人1日供給熱量		2,473kcal	1,834kcal	1,743kcal	1,742kcal
		kg	kg	kg	kg
一	米	59	53	53	70
人	小麦	31	17	17	17
一	大麦・はだか麦	0.2	1	1	1
年	いも類	20	196	167	123
当	大豆	7	11	11	11
た	野菜	94	30	30	30
り	果実	40	15	15	15
供	牛乳・乳製品	86	11	13	11
給	肉類	29	4	5	4
純	鶏卵	17	1	2	1
食	砂糖	19	7	7	7
料	油脂類	14	1	1	1
	魚介類	31	29	29	29

試算1: 水田のうち排水良好面積の大部分にいも類を作付け、残りの全水田で米を作付け。

試算2: 供給熱量2,000kcal以上を確保しつつ、試算1のうち湿田以外の水田に作付けたいも類の一部を、飼料用米に作付け。

試算3: 供給熱量2,000kcal以上を確保しつつ、試算1のうち湿田以外の水田に作付けたいも類の一部を、米粉用米に作付け。

(参考)昭和20年代等の供給熱量(kcal/人・日)

昭和23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
1,852	1,927	1,945	1,858	1,995	1,933	1,951	2,217